

国内クレジット認証委員会御中

## 実績確認概要書

平成 30 年 12 月 14 日

審査機関名： ペリージョンソンレジストラ  
クリーンディベロップメントメカニズム株式会社

### 1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	アルミ溶解炉の更新による CO2 排出削減事業
承認番号	JCDM-PJKC1341
排出削減事業者名	古河電工パワーシステムズ株式会社
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構
事業実施場所	熊本事業所：熊本県菊池市旭志麓 5 5 6
事業の概要	本事業は、送変電事業部熊本製造部において、既存の重油式アルミ溶解炉を高効率 LPG ガス炉へ更新し、エネルギー効率を改善することでエネルギー消費量を削減し、CO2 排出量を削減するものである。
排出削減量の計画	2012 年度：24 tCO2/年 2013 年度－2016 年度：96 tCO2/年 2017 年度：72 tCO2/年 (事業実施期間合計：480 tCO2)
クレジット認証期間	開始日 2013 年 1 月 1 日 終了予定日 2017 年 12 月 31 日
排出削減方法論	方法論 003：工業炉の更新

## 2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日 ～ 2017年12月31日（第2回実績報告）

## 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	607 tCO <sub>2</sub> （2013年4月1日 ～ 2018年12月31日）
-------	--

## 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	排出削減量は、継続して承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを、関係者へのヒアリング及び入手した関連資料より確認した。 1) 承認排出削減事業計画通りに、事業実施場所である古河電工パワーシステムズ株式会社熊本事業所においてプロジェクト計画書に記載されたアルミ溶融炉が設置されていることを確認した。 2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間における鑄造ガス使用記録等の資料により確認した。 3) 事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることを、事業者への質問などにより確認した。 4) その他、本事業の承認排出削減事業計画において、プロジェクトの質に影響する重要な変更が無いことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量が承認排出削減方法論に従って算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法において、排出削減事業計画書に基づき適切に実施されていることを確認した。 2) 各炉ごとに設置されたガスメータによるLPG使用量の把握及びアルミ原材料投入量が炉ごとに記録され、それに基づき適切に集計されていることを確認した。 3) 排出削減量の算定式及び算定に使用されている排出係数等が方法論及び承認された排出削減事業計画に従っており、

	<p>算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>4) その他、排出削減量の算定において重大な変更がなされていないことを確認した。</p>
算定期間がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	算定期間は、2017年12月31日までであり、認証期間の終了日である2017年12月31日を超えていない。

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）  
特になし。

#### 6. 特記事項

本モニタリング期間における省エネルギー量については原油換算 214.4kL であることを確認した。